

# 各施設実態調査結果

## ◆対象施設

公民館

児童センター・子育て支援施設

ボランティア

就学前施設

小学校

中学校

高等学校

## ◆公民館実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・ 公民館図書室の放課後開放
- ・ 公民館ロビーに子ども向けの本を置く
- ・ 年度初めに未就学児対象のエプロンシアター（※1）等を行い、半年後に仕掛け絵本の読み聞かせを実施
- ・ 子ども教室棟等のイベントにて読み聞かせを開催
- ・ 図書室の本の整理、絵本を増やした

### 問2 取り組んだ内容の成果

#### 【①具体的な成果】

- ・ 放課後の子ども達の学習活動の場を提供できた
- ・ 本を置くことによって、公民館を利用する子どもが読書をするようになった
- ・ 子どもたちの表表情からも本に対しての興味や日常生活での成長が見られる
- ・ 保護者の方の絵本に対する考え方が良い変更へ変化した
- ・ 絵本を通じて子どもとのコミュニケーションがとれた
- ・ 普段本を読まない子どもも物語のおもしろさに少しでも気付いてもらえたり、図書館で絵本を読んでもみようと思うきっかけになった。
- ・ 子どもたちに読みお聞かせを体験してもらうことで、聞き手に内容を伝えるためにはまず自分が理解するということに繋がっていると感じられた

#### 【②取り組みの結果、明らかになった課題等】

- ・ 図書室に備え付けている図書が古く、また小学生に向けたものが少ないため本を取る小学生が少ない
- ・ 読書後の片付けができない
- ・ 公民館に来館する方は限られているため、年齢に合わせた事業を行うのが難しい
- ・ 読み聞かせに参加する人数の減少
- ・ おはなし会の機会の減少
- ・ 放課後子ども教室内の読み聞かせの際、嫌がる子や集中しない子どもが多く環境が整いづらい

### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・ 隣接するおやこ図書館との連携として、公民館だよりでの広報活動を検討
- ・ 古い本を廃棄し、子ども向けの新しい図書の購入
- ・ 長期休暇を利用して、小学生に自分で絵本などを作ってもらう
- ・ 大手企業による移動図書の活用
- ・ 子供向けイベントの開催など児童、生徒が利用しやすい環境にしたい

※1 舞台に見立てた、胸あて式エプロンに物語の背景とマジックテープを縫い付け、演じ手がポケットから人形を取り出してエプロンに貼り付けながら物語を演じる人形劇

## ◆児童センター・子育て支援施設実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・ボランティア等による読み聞かせの実施
- ・必ず毎日読み聞かせを実施
- ・季節や年齢に合った本が親子で手に取って読めるよう配置
- ・月に3、4回あるサークルの中で絵本講師による読み聞かせの実施
- ・絵本に関する「すくすく絵本だより」を絵本講師が作成し配布・啓発
- ・読み聞かせ講座の開催（不定期）
- ・絵本や母親向けの本の貸出

### 問2 取り組んだ内容の成果

#### 【①具体的な成果】

- ・子どもが真剣に見たり笑ったりして、楽しい時間を過ごしている
- ・絵本講師の読み聞かせでは子どもを強制的に座らせることはせず実施しているが、徐々にほとんどの子どもが興味を持ち絵本の前に集まり静かに楽しんで聞けるようになってきており、保護者もその大切さを意識したり、絵本に関する相談もしてくれるようになった
- ・リピーターの増加
- ・どのように読み聞かせをしたらよいかわからない親も勉強になっているとの意見がある

#### 【②取り組みの結果、明らかになった課題等】

- ・絵本講師の方に入ってもらうことで計画的に進めることができているが、他の計画等も実施しているセンター職員のみではここまでの研究や提供は難しい
- ・就園児向けの本が少ない

### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・現在行っている読み聞かせを継続させる
- ・大型絵本や紙芝居などを用いた講座の開催
- ・就園児が見たい絵本や図鑑を増やす

### 問4 学校や関係機関支援として、公共図書館や行政に期待すること

- ・移動図書館の実施
- ・図書館司書による読み聞かせの実施
- ・学校などに専門的なアドバイスや提案ができる職員の配置と予算の確保
- ・大型絵本やパネルシアター等低年齢向けの新作の作成

### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・身近な場所（自治会館等）での本の貸出や読み聞かせの実施

## ◆ボランティア実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・各年代別おはなし会、絵本や紙芝居・大型絵本・ペープサート・ことばあそび等読み聞かせを長年継続
- ・卒業時には、読み聞かせリストをプレゼント
- ・バリアフリー絵本展
- ・読書週間イベントにしおりのプレゼント

### 問2 取り組んだ内容の成果

#### 【①具体的な成果】

- ・一冊の本をクラス全員で同じ時間を共有する体験が、想像力を育て、人を思いやる心が育っていると実感している
- ・赤ちゃんとお母さんのリピーターが多く、来場者が増加している。おはなし会後も参加者やメンバーと話が弾み楽しんでもらっていると実感している
- ・保護者をはじめメンバーと顔見知りとなり安心感につながっている
- ・子どもたちの聴く姿勢が変わり、集中して聞いてくれているのが伝わってくる
- ・製作した布絵本、エプロンシアター、手袋シアターなどをおはなし会で活用されている
- ・定期的な依頼が来るようになった
- ・若いボランティアが加入

#### 【②取り組みの結果、明らかになった課題等】

- ・大人は受け身であると感じる。どんなおはなしが楽しいかわからないからおはなし会に来ると思うのですが、大人も一緒に楽しんでくれたら、家庭での読書活動につながると思う。
- ・コロナ禍の中、3密の問題もあり、場所が狭く場所の移動を考えている。
- ・ボランティアスタッフの減少
- ・子ども達からのリクエストがない

### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・今後も継続し活動していく
- ・おはなし会にブックトークを取り入れたい。おはなし会では紹介しきれない本を紹介したい

### 問4 学校や関係機関支援として、公共図書館や行政に期待すること

- ・図書館と学校との連携の強化
- ・図書利用カードの作成コーナーを集団検診やブックスタート時に設置してほしい
- ・大型絵本、紙芝居の充実
- ・学習の場としての図書館の活用について図書館・学校が連携して取り組んでほしい
- ・子育て支援として図書券の配布

- ・学校図書館と公共図書館が連携し、大人が各地域の学校図書館で貸出ができるようになってほしい
- ・学校などでの読み聞かせの場を増やす

#### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・学校・就学前施設などと連携をしてほしい
- ・図書館司書のプロとしての目で、素晴らしい本、絵本、お話を届けてほしい
- ・移動図書館の新設(就学前施設の降園時等)
- ・年に1度、市内のおはなし会、各小学校の読み聞かせグループの交流会を開催し、情報交換をする
- ・読み聞かせをする人の勉強会の開催
- ・親が子どもの前で読書をする姿を見せる努力をはじめられるような啓発活動やイベントの実施



## ◆就学前施設実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・定期（例えば週1回など）の絵本の貸出しや毎日定時（降園前等）の読み聞かせの実施
- ・ボランティア（含保護者）の協力による読み聞かせ、おはなし会等の実施
- ・クラスだよりを利用した保護者へのお薦めの本の紹介
- ・絵本コーナーの充実（図書館の配本利用や団体貸出の活用、クラス単位での年齢に応じた本の配置、子どもが絵本に触れやすい書棚工夫）
- ・読書カードに読み聞かせの様子や感想の記入

### 問2 取り組んだ内容の成果

- ・定期的に読み聞かせを行うことで子どもたちの絵本に対する関心が高まり、自分で読んだり、借りたり、感じたこと・考えたこと等を言葉に表す様子が増えた。
- ・図書館の配本・団体貸出活用によりいろいろな本に触れることが出来るようになった
- ・絵本から生活のルールや友達との関わり方を学ぶことができています
- ・様々なジャンルの絵本を読むことで、想像力や感性が豊かになった
- ・絵本の言葉の表現を真似することで次第に自分の言葉として使い始めた
- ・家庭での様子や保護者の思いを知ることで、保育や絵本の読み聞かせに活かすことができた
- ・親子の読み聞かせがふれあいのきっかけに繋がっている
- ・保護者が図書館に大型絵本や紙芝居があることを知り、図書館利用のきっかけとなった

### 問3 取り組みの結果、明らかとなった課題等

- ・保護者への啓発の必要性  
子どもたちは絵本が好きだが、家庭での読み聞かせに積極性が見られない、読み聞かせに熱心である家庭とそうでない家庭の差が激しい。忙しい等の理由で読み聞かせがなされないまま返却し残念がる子も多い。
- ・テーマごと、季節ごと、発達段階ごと等、子どものニーズに応じた蔵書揃えを充実したいが、予算的に難しい。また、子どもの読書ニーズに関する情報も不足している。
- ・職員自身が、子どもの発達段階に応じたふさわしい絵本を選ぶ力量をさらに高めていく必要がある
- ・興味のある絵本（アニメ絵本や図鑑等）のみを借り、読むジャンルに偏りが見られる

#### 問4 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・ 図書館見学の実施
- ・ ボランティアの方たちとの交流を深める
- ・ 園児のお気に入り絵本を題材とした劇あそびやペープサート（※2）を制作し楽しむ
- ・ 保護者に読み聞かせの大切さを理解してもらうために、園だより・クラスだより等を通じて啓発を行う
- ・ 大型絵本・紙芝居や年齢にあった蔵書揃えの充実、図書館配本・団体貸出の有効活用
- ・ 図書館で毎月発行している「図書館だより」を保護者に配布し、図書館の利用増に繋げる
- ・ 保護者に読み聞かせを行いたい絵本のアンケート調査を行い、蔵書揃えや貸出に反映する
- ・ 保護者が絵本の情報を共有できるよう、お薦め本や新刊の案内等を行う
- ・ ボランティアの協力による読み聞かせ・おはなし会の一層の充実

#### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・ 絵本の内容や物語をペープサート等で子どもたちに分かりやすく話をしてくれる出前講座
- ・ 図書館配本活動や団体貸出の一層の充実
- ・ 職員や保護者向けの絵本読み聞かせ講座
- ・ 蔵書揃えに関する予算の充実
- ・ 巡回図書館の実施
- ・ 読み聞かせボランティア等に関する情報紹介

※2 紙人形劇のこと



## ◆小学校実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・学級文庫の充実（学年に適した選書、クラス間での図書入れ替え）
- ・図書館との連携による配本・団体貸出の活用
- ・教職員、ボランティアによる読み聞かせ
- ・児童（小学6年生、図書委員会児童・図書係等）による読み聞かせや給食時の朗読、お薦め本紹介や校内放送等を活用した図書室利用呼びかけ
- ・教職員希望や児童のアンケートを基にした図書の選定・購入
- ・朝の読書
- ・図書館や学校図書館見学
- ・本のガチャガチャを置き、様々な本を読むよう呼び掛けた
- ・家庭読書カード（本を読み、紹介文を書いていく宿題）の活用
- ・児童自身による目標設定（みきゃん通帳の活用、読書スタンプラリー、読書がんばりカード、読書週間での目標、各学年一定冊数の必読書の選定等）、及び意欲喚起のための達成者等への表彰（多読賞・ピカイチ賞等）
- ・学級単位で学校図書館を利用し、本を借りる「ブックフライデー」を設定
- ・読書感想文

### 問2 取り組んだ内容について

#### 【① 具体的な成果】

- ・多読賞により児童の意欲が高まり、読書量が増え、昨年度より受賞者が多くなった
- ・読書時間が増えた、読書習慣が身についた、本への関心が高まった、読む力が強まった
- ・静かに読書をする習慣が身についた
- ・様々なジャンルの本に興味を持てるようになった
- ・友達と情報交換しながら進んで読書をするようになった
- ・全国学力状況調査（国語）の読み取り問題の正答率の向上
- ・市立図書館の利用頻度の増加
- ・必読書の選定による国語の並行読書（※3）の推進

#### 【② 取り組みの結果、明らかとなった課題等】

- ・色々なジャンルに興味を持たせることの難しさ
- ・児童によって読書量の差が大きい。また、読む本に偏りが見られる（漫画・図鑑等）
- ・家庭での読書の必要性について、保護者に意識の差が見られる
- ・学年に応じた内容の本が読めていない
- ・学校図書館の環境整備（蔵書不足）

※3 共通教材（通常は教科書教材）と関連させて、本や文章を読むことを位置づける指導上の工夫のこと。



### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・新書の選定・入荷
- ・お薦めの本のコーナーを充実させ、手に取ったことのない本に興味を持たせる工夫をする
- ・必読書の設定を教科書の内容に合わせ見直し、変更をしていく
- ・図書委員会による図書館利用の呼びかけ（お薦めの本の紹介やポスター掲示、ポップ作成）
- ・図書ニーズ調査（読みたい本のアンケートなど）
- ・アニメーション（※4）を取り入れた授業
- ・国語科の教材に合わせた並行読書の実施
- ・ブックトーク（※5）への参加検討
- ・学級文庫の充実
- ・秋の読書週間での図書委員会主催によるイベント実施（図書クイズ・図書ビンゴなど）
- ・ボランティア団体による全校一斉読み聞かせ（体育館にて大型スクリーンを利用した楽器演奏とのコラボレーション）

### 問4 学校や関係機関支援として、公共図書館や行政に期待すること

- ・読み聞かせやお薦めの本の貸出など学校と市立図書館がさらに連携を深めていきたい
- ・教材と関連した書籍や視聴覚資料の貸出
- ・子ども達にとってよりよい読書環境となるよう市立図書館司書にアドバイスをしてほしい
- ・様々な電子資料の公開・発信
- ・市立図書館の開館時間拡充
- ・学校図書館の貸出システムの電子化
- ・各学年の教材に合った本のHPでの紹介
- ・いろいろな学習にあった本の貸出セット（手話セット・自動車セット・農業セット等）を作ってほしい
- ・学校に割り当てられている図書費の増額

### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・週に1度は、児童がじっくり本に親しむ時間を確保する

※4 子どもたちに読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すためのグループ参加型の読書指導メソッド。

※5 一定のテーマを立てて一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介し、その本の面白さを伝え、その本を読みたいという気持ちを起させること。



## ◆中学校実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・定期的な地域ボランティアによる読み聞かせ
- ・図書委員会生徒による図書室利用の呼びかけや読書調査・ポップ作製・お薦めの本紹介
- ・国語の授業での図書館利用
- ・朝、放課後、図書貸出を行うなど、本を読む機会を増やす
- ・図書室・学級文庫の整備
- ・生徒による定期的なブックトークの実施
- ・朝の読書活動の設定
- ・3年生対象のビブリオバトル（※6）→ 実施した本の購入
- ・本のリクエスト

### 問2 取り組んだ内容の成果

#### 【① 具体的な成果】

- ・図書館整備により利用者が増えた
- ・読む習慣がついた
- ・色々なジャンルに興味を持つ生徒が増えた
- ・ビブリオバトルを行うことにより、読書に対する意欲が出てきた
- ・本のリクエストにより、読みたい本が読めると好評である

#### 【② 取り組みの結果、明らかになった課題等】

- ・図書館の利用時間や読書時間の確保が難しい
- ・ブックトークの内容に偏り
- ・読むジャンルに偏りが見られる

### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・学級単位での図書委員による本の紹介
- ・朝の読み聞かせ
- ・国語科の授業で本の紹介文書く時間を設ける
- ・ビブリオバトルの実施

### 問4 学校や関係機関支援として、公共図書館や行政に期待すること

- ・図書支援員の配置
- ・学校管理運営が厳しいため、外部からの支援がほしい
- ・図書館だよりの内容の更なる充実

### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・学校図書館司書及び支援員の配置
- ・図書館運営サポーターの配置

※6 どこでも手軽に楽しめる書評ゲーム



## ◆高等学校実態調査内容◆

### 問1 これまで子ども読書活動のため取り組んだ内容

- ・学級文庫として各クラスの教室の本を5冊程度置き自由に読めるようにする
- ・毎月「図書だより」を発行しクラス掲示、図書担当教員のおすすめ図書を紹介する
- ・朝の読書活動の設定（朝の10分間読書）
- ・読書マラソンの実施 → 感想文を「読書POPカード」に記入
- ・図書委員会による文化祭でのビブリオバトルの実施

### 問2 取り組んだ内容の成果

#### 【① 具体的な成果】

- ・朝の読書は中学校から実施している生徒も多く習慣がついており、静かに集中して読書ができている
- ・「図書だより」は先生方の読書体験インタビューを掲載しており、生徒たちに好評である
- ・図書館利用者の増加
- ・休み時間や昼休み時にも読書をしている生徒の姿が増えた

#### 【② 取り組みの結果、明らかになった課題等】

- ・朝の読書の際に、読みやすい本ばかり選ぶ生徒がいる
- ・読書マラソンはここ数年参加者が減少しているため、一層の呼びかけが必要

### 問3 子ども読書活動推進のため、今後取り組みを予定していること

- ・図書委員会活動を増やし読書の啓発に努めたい
- ・アクティブブックダイアログ（ABD）（※7）の手法を使って読書会を行いたい
- ・学校図書館の整備。設備を整えたり蔵書を精選するなど生徒が利用しやすい環境にしたい

### 問4 学校や関係機関支援として、公共図書館や行政に期待すること

- ・図書委員や希望生徒を対象に、講習会（ABD、本の選び方や本、紹介のPOPの作り方など）を実施してほしい
- ・図書購入の助成
- ・公共図書館を「まちの活性化」として位置付け、コミュニティ形成の重要拠点としてますますの活性化を期待している

### 問5 その他、子ども読書活動推進のための具体的な提案

- ・現在行われているブックスタートや読み聞かせ等の活動の更なる充実

※7 読書が苦手な人も、本が大好きな人も、短時間で読みたい本を読むことができる全く新しい読書手法